

令和5年度 海田町立海田中学校区
第3回学校運営協議会



令和6年2月 21日(水)9:00~10:00
海田町立海田東小学校 図書室

令和5年度 海田町立海田中学校区
第3回学校運営協議会議事内容等

1 議 事

第1号議案 各校「学校評価(最終)」について

第2号議案 「心の元気」全町展開プロジェクト活動報告について

第3号議案 海田中学校区ボランティア報告

2 資料等

資料1 学校運営協議会委員名簿

3 その他

【第1号議案】

各校「学校評価(最終)」について

- 海田町立海田中学校
- 海田町立海田東小学校
- 海田町立海田南小学校

令和5年度 学校自己評価表 海田町立海田中学校

学校教育目標 「考え、実践する」～ 自律、尊重、挑戦～

中期経営目標	評価項目	評価指標	評価基準				自己評価(最終)		
			A	B	C	D	最終値	評価	結果と課題の分析
			目標達成	ほぼ達成	もう少し	達成しない			
主体的・協働的で、考えを深め表現するための授業改善	◎主体的に学ぼうとする学習意欲の向上(自律・挑戦)	◇学校生活アンケート(生徒)で、「授業では、自分の考えを積極的に伝えています」と肯定的に回答する生徒の割合(選択する力・表現する力)	80%以上	70%以上	50%以上	50%未満	68.6%	C	生徒が安心して自分の考えを発信できることが大切である。しかし教員主導での指導の割合が少なくない。また、正答を中心に指導が進む授業もあり、生徒誰もが安心して発言しない状況を生んでしまう可能性がある。以上のことから次の点が今後の課題として考えられる。①生徒が自分の考えを発信する目的を教員が意識的に仕組む ②生徒の発言の正誤に関わらず、適切にフィードバックする ③発信した生徒誰もが自らの発言が学級の中で生かされていると感じられる場面を設定する。
		◇学校生活アンケート(教員)で、「『一人一人を尊重した授業をするための留意点』を授業の中で意識しています」と肯定的に回答する教員の割合(選択する力・表現する力)	90%以上	80%以上	50%以上	50%未満	100.0%	A	目標値を上回り全教職員が、一人一人を大切に授業づくりを意識できているという結果になった。こまめな呼びかけや、公開研究会を通して、全教職員が無意識に一人一人を大切に授業を実践できるようになったからだと分析できる。しかし、生徒指導の視点や、道徳教育の視点など『一人一人を尊重した授業をするための留意点』には多くの視点が組み込まれているため、来年度は視点を焦点化して、どのように生徒一人一人を大切にしていけるか、具体化していく必要がある。
	◎「読む文化」を生み出す学校づくり(自律)	◇各学期における図書室の本の、一人当たりの貸出冊数の割合(認識する力・選択する力)	5冊以上	3・4冊	2・1冊	0冊	全5.4 ①7.5 ②7.2 ③1.7	A	朝のSHR時の図書室利用、アンケートを実施した上での漫画の購入と漫画を読むスペースの充実、新刊図書の購入、委員会や国語科とで協力して行ったビブリオバトルやPOPの作成、今年度からの放課後図書室の開放など、読書への啓蒙活動を年間を通して実施し、1・2年生では目標値を上回る事ができた。ただし、12月の図書月間におけるイベントは周知不足のため参加人数は例年より少なく、実施方法や内容など検討する必要がある。(最終値は1・2学期のもの)3学期に読書マラソンがずれ込んだため3年生の読書冊数が伸びなかった。来年度は必ず3年生が参加しやすい時期に行う。
	◎確かな学力の定着(自律)	◇全国学力調査及び標準学力検査で全国平均を超えることのできた学年・教科の割合	80%以上	60%以上	50%以上	50%未満	(標準学力) 教科1/2学年 国-1.7 +3.2 数-2.5 +1.3 理-3.9 +2.2	B	2学年は、全教科で全国平均を上回った。各授業で、生徒が定期的に復習問題に取り組む時間を設けており、各教科の基礎的な知識が定着していると分析できる。一方で、1学年は、全教科で全国平均を下回った。どの教科も、正答率が全国平均より大幅に低い領域がある。授業者がその領域を重点的に底上げすることを授業内で意識し、帯学習の取り組みなど授業改善を行い、全体の学力向上に取り組んでいきたい。
人間性豊かな生徒の育成	◎自己実現力・自己効力感の向上(尊重)	◇道徳意識調査で、「自分にはよいところがあります」と肯定的に回答する生徒の割合(認識する力)	80%以上	60%以上	50%以上	50%未満	全85.5 ①84.6 ②82.5 ③89.6	A	肯定的回答が昨年度から2学年は約6ポイント、3学年は約15ポイント上昇した。全体でも約6ポイント上昇し、85.5%と多くの生徒は自己肯定感をもつことができている。道徳授業や様々な行事に加え、日々の生活の中で生徒を認め、励まし、伸ばすような指導を教職員全体で年間を通して継続してきたからである。来年度は継続して自己肯定感を高めるような対応に加え、取組についても全体で共有しながら進めていきたい。
	◎海田町を愛する生徒の育成(尊重)	◇学校生活アンケートで、「海田町に今後も住みたいと思う」と肯定的に回答する生徒の割合(選択する力)	80%以上	60%以上	50%以上	50%未満	全81.6 ①87.0 ②74.5 ③84.0	A	肯定的回答が全体が昨年度から1ポイント上昇し、81.6%と目標値を超えている。学年ごとに見ると、1学年は87%と高く、3学年は昨年度より約1ポイント上昇したが2学年は7ポイント減少した。総合的な学習の時間や道徳授業において体験や実物に触れるなど実感を伴うような工夫の成果であると考えられる。来年度は実感を伴う学びの機会を増やしていければと考えている。
健康やかな体の育成	◎規則正しい生活習慣(自律)	◇保健のアンケートで、適切で十分な睡眠時間(7～8時間程度)をとっている判断される生徒の割合(選択する力)	80%以上	60%以上	50%以上	50%未満	全77.1 ①85.2 ②75.5 ③72.3	B	全体で見ると3.6ポイント上昇している。学年で見ると1学年1.4ポイント、2学年では6ポイント、3学年では7ポイントそれぞれ上昇している。コロナ禍による生活環境の変化が背景にあるが、1学年では外部講師による睡眠学習、今年に入って2学年では保健の授業で生活習慣についての学びを深め、3学年は保健だより等を通して睡眠に関する学びの影響もあり、一人ひとりの生活習慣に対する意識が高まっているように感じる。引き続き、日々の学校生活の中で、個別に声かけを継続して行い、未来に繋がられるよう規則正しい生活リズムに繋がっていきたくと考えている。
	◎体力の向上(挑戦)	◇体力テストで、全国平均・県平均を上回る項目の割合	80%以上	70%以上	50%以上	50%未満	全体 37.5% 男子 62.5% 女子 12.5%	D	男子では、握力、上体起こし、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳びを除く3種目において県平均値かつ全国平均値よりも低い。女子では、上体起こしを除く7種目において県平均値かつ全国平均値よりも低い。体を動かす場面が減ったことが原因の一つだと考える。以上の結果を受けて体育の授業では、①体力テストの結果を振り返り、来年度に向けて目標を設定する。(体育理論)②新たに単元に応じた補強運動を行う。また、授業の最初において、柔軟性を高める運動や体操を意識的に取り組む。(例:マット運動→柔軟性を高める運動、バレーボール→ボール投げ運動等)③体づくり運動の充実を図る。(様々な運動を取り入れた活動の実施)④授業の最初に行う補強運動の回数を増やし、体力向上を図る。(腹筋、背筋、腕立て伏せ15回等)
信頼されたい学校づくり	◎保護者・地域の学校満足度の向上	◇学校生活アンケートで、「海田中学校の教育活動に概ね満足している」と肯定的に回答する保護者の割合	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満	94.5%	A	最終結果においても高い評価であった。学期毎に参観日、懇談会を設置したことや、体育祭、文化祭等で子供の活躍を直接見ていただいたり、学級通信や学校通信を通して、学校の様子を発信したりすることで、こどもの成長を感じていただけたことが良かったと考える。一方で、「学校でしていることがわからない」という意見もあることから、どのように情報提供していくか検討していく必要があると考えている。
	◎教職員のやりがい(自律・尊重・挑戦)	◇学校生活アンケート(教員)で、「私はこの学校に満足している」と肯定的に回答する教員の割合	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満	86.7%	B	日々の業務に大きな変化はないが、職員朝会や校務運営会等の機会を利用して、情報共有したり、見通しがもてるように工夫したりしたことや、それぞれが自分の立場で何をすべきか考え主体的に動くことができている。課題が次への原動力になるよう次につなげる取組を考えていく。
	◎働き方改革の推進(自律)	◇学校生活アンケート(教員)で、「退校時刻1時間以内の日を毎月2回以上各自が設定し、守ることができた」と肯定的に回答する教員の割合	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満	76.7%	C	退校目標時間を守ろうと意識できるようになってきた。水曜日に定時退校日を掲げている。各自計画的に意識して定時退校するのは、難しいようであったが少しずつ定着してきている。「退校時刻1時間以内」つまり17:35までに退校するために、教員の意識を高め、保護者の協力をお願いしていきたい。

令和5年度 海田東小学校 学校評価自己評価表(最終版)

学校教育目標 考え実践する 海田東つ子 笑顔 あいさつ・思いやり (EAO)
 ―「よく学び」「よく遊び」「やさしく強く」―

中期経営目標	短期経営目標	取組・評価項目	評価指標	評価結果				中間値	最終値	評価	最終の反省
				A	B	C	D				
				目標達成	ほぼ達成	もう少し	できていない				
知	自分の考えを深める子	・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組	・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組	75%以上	65%以上	60%以上	60%未満	75%	全学年平均を超過した学年・教科全16教科中12教科	A	○資料科では「宿題の課題の重さ」を減らすことで、宿題の負担を軽減し、子どもが主体的に「タレント」にまわらせた。また、宿題の負担を軽減し、子どもが主体的に「タレント」にまわらせた。また、宿題の負担を軽減し、子どもが主体的に「タレント」にまわらせた。また、宿題の負担を軽減し、子どもが主体的に「タレント」にまわらせた。
				80%以上	70%以上	60%以上	60%未満	70%	70%	A	○「よく学ぶ」の取組として、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。
				80%以上	70%以上	60%以上	60%未満	70%	70%	A	○「よく遊ぶ」の取組として、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。
				80%以上	70%以上	60%以上	60%未満	70%	70%	A	○「やさしく強く」の取組として、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。
徳	自分や友達、たいやんを大切に育む子	・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組	・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組	80%以上	70%以上	60%以上	60%未満	70%	70%	A	○「よく学ぶ」の取組として、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。
				80%以上	70%以上	60%以上	60%未満	70%	70%	A	○「よく遊ぶ」の取組として、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。
				80%以上	70%以上	60%以上	60%未満	70%	70%	A	○「やさしく強く」の取組として、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。
				80%以上	70%以上	60%以上	60%未満	70%	70%	A	○「よく学ぶ」の取組として、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。
体	進んで活動する児童を育てる子	・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組	・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組 ・「海田町標準学力調査」(OPIの結果)を身に付けた児童の取組	80%以上	70%以上	60%以上	60%未満	70%	70%	C	○「よく学ぶ」の取組として、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。
				80%以上	70%以上	60%以上	60%未満	70%	70%	A	○「よく遊ぶ」の取組として、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。
				80%以上	70%以上	60%以上	60%未満	70%	70%	A	○「やさしく強く」の取組として、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。
				80%以上	70%以上	60%以上	60%未満	70%	70%	A	○「よく学ぶ」の取組として、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。また、児童の学習意欲を高めるための取組を実施している。

令和5年度 学校評価自己評価表 海田町立海田南小学校

学校教育目標 「考え 実践する 海田南っ子」

評価計画			評価基準				自己評価			
中期経営目標	評価項目	評価指標	A	B	C	D	中間値		最終	
			目標達成	ほぼ達成	もう少し	できていない	中間値	評価	最終値	評価
確かな学力	授業改善	算数科・国語科単元テストにおける到達率80%以上の児童の割合	70%以上	60%以上	50%以上	50%未満	75%	A	74.2%	A
	ぐんぐんタイム・授業改善	「標準学力調査」全国平均正答率との比較。(全国平均正答率以上の教科(16教科)の割合)	87%以上	75%以上	62%以上	50%未満			100.0%	A
	読書活動	児童一人当たりの平均貸出冊数(指定図書を含む)	80冊以上	55冊以上	50冊以上	50冊未満	33.5冊	B	60.2冊	A
健康の保持増進	よく動く	1か月の学級全員が外遊びをしている平均回数	4回以上	3回	2回	1回以下	2.3回	C	3.7回	B
健康の保持増進	よく食べる	給食の残菜量の割合	10%未満	10%以上 15%未満	15%以上 25%未満	25%以上	11.4%	B	12.0%	B
健康の保持増進	よく眠る	早ね早起朝ごはんキャンペーン中、自分が決めた目標の睡眠時間を守れた人数の割合	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満	83.1%	B	86.5%	B
自律した心	挨拶	挨拶に対する児童アンケートにおける肯定的回答の割合	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満	83%	B	85.0%	B
	自己肯定感	自己肯定感に関する児童アンケートにおける肯定的回答の割合	80%以上	75%以上	70%以上	70%未満	88%	A	86.3%	A
信頼される学校	安心・安全な環境づくり	避難時における適切な行動に対する児童アンケートにおける肯定的回答の割合	85%以上	80%以上	75%以上	75%未満	92.7%	A	94.1%	A
	積極的な情報発信	保護者アンケートにおける肯定的な割合	85%以上	80%以上	75%以上	75%未満			94.0%	A
ずっと働きたい学校	定時退校	毎月4回以上、18時退校を守ることができた教職員の割合	85%以上	80%以上	75%以上	75%未満	84.6%	B	82.1%	B

【第2号議案】

「心の元気」全町開プロジェクト事業(海田中学校区)事業報告

1 事業実施期間

令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

2 事業内容

時期	合同活動と町内行事	体験活動			検証
		あいさつ運動	花いっぱい運動	クリーン活動	
5月	・第1回推進協議会				
6月		あいさつ運動 各校で年間通して活動(生徒会・児童委員会)	各校で植栽活動 海田ヒマワリ屋さんとの植栽等各校の取組	各校でクリーン活動 (海中・道楽隊など)	意識調査
7月	・かいた七タさん				意識調査集計・実態把握
8月					
9月					
10月	・第2回推進協議会 ・三校合同あいさつ運動(25日)				
11月	・三校オンライン会議(生徒会・児童会)				
12月	・植栽活動(1日)				
1月	・海田町こども議会				意識調査・集計
2月	・第3回推進協議会				意識調査最終評価
3月					

3 成果と課題—アンケート結果より—

今年も三校合同あいさつ運動や植栽活動を進めてきた。あいさつについての自己評価は三校とも高い。今後は地域でもあいさつができるように取組を進めていく。また、今年、こども議会の前に三校がオンラインで繋がり、決議案の内容を話し合うこともできた。

課題としては、昨年同様「自分のよさが、周りの人から認められている」「地域のために、地域の行事などに参加している」の評価が低い。しかし、新型コロナが5類になり、行事が増えることで人と関わるが増え、昨年より肯定的評価が増えている。今後は、地域の行事について発信したり、地域の施設や人材を生かした学習を取り入れたりすることで、地域と関わり、役に立つ経験を積ませて「自己肯定感」の向上を図っていきたい。

令和5年度道徳意識調査(海田中学校区)

(肯定的評価:単位%)

項目	海田南小		海田東小		海田中	
	4月	1月	4月	1月	4月	1月
自分にはよいところがあると思う	82	86	81	83	82	84
自分のよさが、まわりの人から認められていると思う	80	80	74	77	73	81
近所の人に会ったときは、あいさつをしている	86	87	96	89	86	88
今住んでいる地域が好きだ	95	95	87	93	88	90
今住んでいる地域のために、地域の行事などに参加している	68	70	77	76	54	68

令和4年度道徳意識調査(海田中学校区)

(肯定的評価:単位%)

項目	海田南小		海田東小		海田中	
	4月	1月	4月	1月	4月	1月
自分にはよいところがあると思う	82	85	90	89	80	79
自分のよさが、まわりの人から認められていると思う	73	79	87	75	73	76
近所の人に会ったときは、あいさつをしている	84	84	96	90	87	85
今住んでいる地域が好きだ	93	92	97	85	88	84
今住んでいる地域のために、地域の行事などに参加している	68	67	88	74	50	58

海田中学校

- 「かいた七夕さん」各クラス1本計14本作製参加
雨で中止でしたが、生徒玄関に飾り七夕の雰囲気を楽しみました。
- 3校合同あいさつ運動の実施
- 美化JRC委員会を中心とした「道楽隊」の実施
- 美化JRC委員会による植栽活動

成果

- クラスで夢や願いをともに1本の笹に掲げることができてよい時間となっただけでなく、町内中学生として再認識して町の行事に参加することができた。
- 昨年に引き続き中学生が小学校へ行ってあいさつ運動に参加する形で実施。
小学生の手本となるよう気合を入れて挨拶をする中学生の姿がみられた。
- 「道楽隊」の活動により、正門・裏門付近の清掃活動を定期的に行うことができた。
- 植栽活動により、季節の花を花壇やプランターに植えることができた。

課題

- 3校合同あいさつ運動が1回しかできなかった。
- 6校での予算の運用で、再調整をお願いすることになってしまった。



海田東小学校

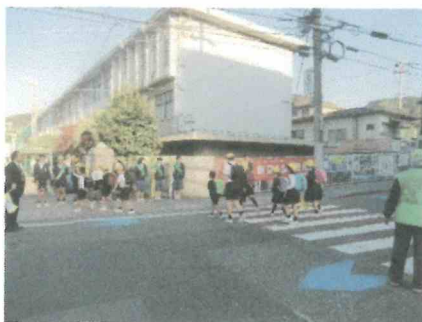
- 「かいた七夕さん」を作成
- 児童委員会を中心としたあいさつ運動
- 3校合同あいさつ運動の実施
- 児童委員会を中心としたあいさつの花運動
- 4年生によるひまわりの花運動
- 児童会を中心とした能登半島地震募金活動

成果

- コロナ禍でもできることを考え、昨年度始めた挨拶の花の取組を継続することができた。挨拶の花カードをきっかけに、学年での関わりがない児童や他学年、教員の関わりが生まれた。また、挨拶の花の掲示が完成し、各クラスの頑張りが目に見えて分かり児童が達成感を味わうことが出来た。
- 4年生のひまわりの花活動では、町花のひまわりに関して調べたことを発表し表現する力を付けることが出来た。
- 能登半島地震の被災者に対して自分たちに何が出来るか。児童委員会が発案し、校内放送で呼びかけたり各クラスにポスターを掲示したりして、1月22日(月)～24日(水)青玄関(正面玄関)前で募金活動をした。(この様子は1月23日の中国新聞に掲載)児童だけでなく、保護者の方や地域の方、教職員の募金も合わせて、170,268円もの募金が集まり、中国新聞社を通じて、能登の被災者に届けることができた。

課題

- 安全面を考え取りやめた(正門付近は車の出入りもあり危険)各学年の朝のあいさつ運動の代わりに取組については、検討中のままで終わった。児童委員会を中心に来年度に向けて考えていきたい。
- 学校評価アンケートのあいさつの項目において、児童は87%が肯定的評価をしているが、保護者73%地域71%と低い。学校での取組が、校外でも生かされるように取り組んでいく必要がある。



海田南小学校 「こころの元気」活動報告

・あいさつ運動



傾向として、友達や先生にはあいさつをするが、交通安全ボランティアの皆さんや学校への来客にはできにくい傾向があるので、今後も意欲をもってあいさつできるよう継続的に取り組む。

・花いっぱい運動



・クリーン活動



る機会を持つなどして、問題意識をもって、自分たちにできることは自分たちで解決しようという姿勢を持ち続けたい。また、中学校区とも連携し、クリーンキャンペーンなどを共同で行うことで問題提起し、活動の輪が広がることを願っている。

生徒指導部と挨拶委員会が連携し、「あいさつ日本一」を目標にあいさつ運動を行った。

あいさつレベルを設定し、レベル3「自分から相手の目を見てあいさつする」をクリアできた割合を毎月集計し、意欲付けを図った。1月は、友達への挨拶79.2%、先生74.4%を達成した。

あいさつアンケート1月 結果発表!

	友達		先生		ボランティア		お客さん	
	2以上	3以上	2以上	3以上	2以上	3以上	2以上	3以上
1年	97.4%	75.7%	97.3%	68.2%	94.6%	72.8%	93.8%	71.2%
2年	95.8%	76.2%	98.1%	78.1%	86.7%	69.9%	94.9%	73.7%
3年	98.8%	79.6%	97.4%	73.6%	92.1%	75.3%	93.4%	76.5%
4年	95.6%	78.0%	92.3%	66.6%	81.3%	65.6%	90.5%	62.8%
5年	100.0%	84.0%	100.0%	82.4%	96.6%	71.8%	97.7%	79.1%
6年	97.0%	81.8%	100.0%	77.3%	98.5%	69.7%	95.5%	72.8%
学校計	97.4%	79.2%	97.5%	74.4%	91.6%	70.9%	94.3%	72.7%

あいさつレベル 基本は「立ち止まって 語先後礼」

レベル1 あいさつをしない。

レベル2 あいさつをされたら あいさつをする。

レベル3 自分から相手の目を見てあいさつする。

レベル4 自分から 立ち止まって相手の目を見て あいさつをする。

数値が上がっているだけでなく、
5年生・6年生は100%達成です!

栽培委員会が、地域の「海田ヒマワリ屋さん」のご指導を頂きながら共にヒマワリの植え付けを行った。ヒマワリの花壇には、5月に行われた広島サミットで配られたプレートを設置し、地域へのアピールを行った。ヒマワリ屋さんの手厚いサポートのもと活動をしているので、活動が人任せにならないよう自発的な取組としたい。

6年生は、総合的な学習の時間を使って地域の公園が有効利用されるよう調査を行った。公園に困ったことがあったらすぐに意見を書けるよう、都市整備課の方に許可を頂き、公園に調査ノート置いて住民の意見を集めた。「ゴミが多い」という意見が多く、地域の公園でゴミ拾いを行いながら利用状況を調べた。そして集まった意見を子ども議会で報告し、町にも公園の利用状況やごみ対策などを質問することができた。今回行った自発的な活動が継続するよう、校内で発表する

第3号議案

海田中学校区ボランティア報告

		月	活動	内容	人数
全校共通	1	6～	ひまわりの栽培	海田の「ひまわりやさん」からひまわりやさんが大切にしているひまわりや、ひまわりの育て方を教えていただき、植栽、栽培した。	4～5
	2	11	3校合同 あいさつ運動	海田東小学校、海田南小学校、海田中学校で行われた合同あいさつ運動への参加	10
海田中学校	1	毎日	挨拶運動	青少年育成委員による毎日の正門での挨拶	1
	2	7	職場体験 (職業講話)	職業講話（事前学習にて企業協力）	オンライン
	3	8	職場体験	3日間の職場体験学習受け入れ先事業所として仕事について体験さえていただいた。	53事業所
	4	10	保育実習	3年生総合的な学習の時間にて、保育実習を町内保育所。幼稚園にて実施した。	3事業所
	5	10	福祉体験学習	車いす体験・福祉新聞づくり・点字体験・読み聞かせ・手話の5つの福祉体験学習	20
海田南小学校	1	毎月	クラブ活動	グランドゴルフクラブに、毎回地域のボランティアに参加いただき指導していただいている。	5
	2	不定期	委員会活動	栽培委員会の植栽活動に、地域のボランティアの方が参加してくださり、共に活動する。	2～3
	3	6～	ボランティア講演	3年生が地域の交通安全ボランティア遠島さんから思い・願いを聞き、交流する。	1
	3	6	おはなし会	読み聞かせ	15
	4	10	昔遊び	1年生が地域の方から「こま回し」「お手玉」「めんこ」「だるまおとし」「羽根つき」「お手玉」「けん玉」の遊びを教えていただいた。	10
	5	10	史跡巡り	地域のボランティアの方に案内していただき、町内の史跡をめぐる。	5
	6	11	点字体験	社会福祉協議会・六つ星の会（地域の点字ボランティア）の方にご来校頂き、点字体験をした。	6

	7	1~2月	家庭科ミシン補助	5年生が家庭科でミシンを使う学習時、保護者に呼びかけてボランティアで補助に入っていた。	延べ 20
小 共 通	1	毎日	交通安全ボランティア	毎朝、通学路の要所に立っていただき、児童が安全に登下校できるよう指導していただいている。	
	2	学期に 1回	おはなし会	海田図書館のボランティアの方による読み聞かせ	
	3	4	1年生交通安全教室	信号機や横断歩道の正しい使い方を学び、安全に登下校できるようにすることができた。	
	4	11	1年生人権の花	人権についてのお話や紙芝居を通じて、1年生なりに人権意識をもつことができた。ヒヤシンスの球根もいただいた。	5~7
	5	4	4年生自転車安全教室	自転車の乗り方を練習することで、交通安全の意識を高め、安全に乗るための準備をすることができた。	
	6	10	高学年陸上教室	陸上記録会を前に、国際学院高校の陸上部から指導を受けることで、競技の基礎を学び記録の向上につなげることができた。	国際学院 の先生と 陸上部の 生徒数名
海 田 東 小 学 校	1	1・2 学期	海田町ガイドツアー	海田町の名所めぐり	16~20
	2	2学期	4年生福祉体験	「車椅子体験」「点字体験」「高齢車体験」などをさせていただいた。	約8~10
	3	10	昔遊び	1年生が地域の方から「こま回し」「お手玉」「こ「だるまおとし」「羽根つき」「お手玉」「けん玉」の遊びと「背負子と背負籠」を背負う体験をさせていただいた。	8名
	4	1	門松の作成、設置	正月の門松を作成して、設置等してくださった。	2~3
	5	1	昔の暮らし	3年生が、地域の方から昔の暮らしについてお話を聞かせていただいた。	1
	6	2	昔の暮らし	3年生が、旧千葉家で昔の暮らしについてお話を聞かせていただき、体験をさせていただく予定。	約10

外部講師（企業など含む）

【海田中学校】

【小学校共通】

- ・ 6年生薬物乱用教室（薬剤師・海田警察署）
- ・ 6年租税教室（海田税務署）

【海田南小学校】

- ・ 3年生認知症サポート講座（海田町長寿保健課）
- ・ 全校不審者対応防犯教室（海田警察署）
- ・ 全学年スイミングスクールでの水泳学習（FITTA坂）
- ・ 4年ひろしま防災出前授業（海田町防災課）
- ・ 6年スマホ安全教室（海田警察署・NTT）
- ・ 4年生介護プチ口座（広島県介護福祉会）
- ・ 3年パラスポーツ選手による講演会・スポーツ教室（池田伸彦さん・介護福祉士）
- ・ 6年高齢者職業体験（広島県介護福祉会）

【海田東小学校】

- ・ 3年ミルク教室（明治）
- ・ 5・6年巻きずし教室（あじかん）
- ・ 2年海をたすける教室（ツーウエイト）
- ・ スマホ教室（ドコモ）